

第5学年1組 国語科学習指導案

指導者 早乙女 剛

1 単元名 「伝え合おう、五年生でがんばりたいこと」

2 目標

- がんばろうと思っていることを友達にも知ってもらいたい、という意欲をもってスピーチしたり、話し手の思いや考えを聞こうとしたりする。 (関心・意欲・態度) ア
- 自分の思いや考えを聞き手に分かりやすく伝える工夫をして話す。また、話し手の考えをとらえながら聞く。 (話すこと・聞くこと) イ
- 自分の考えを明確に表現するために段落の構成を工夫する。 (言語事項) オ

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語事項についての知識・理解・技能
① 自分のことを知ってもらうために、話の組立てを工夫して話そうとしたり、話し手の意図を考えながら聞き取ろうとしている。	① 聞き手を意識し、自分が伝えたいことを明確にしている。 ② 聞き手が分かるように、話の順序を工夫しながら話している。 ③ 話し手の考えを聞き取り、もっと聞きたいことを質問している。	① 自分の考えを伝えるために、適切な語句や表現を使用している。 ② 分かりやすく伝えるために段落の役割やその並べ方に注意している。

4 指導計画 (9時間扱い、本時は第6時)

次時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準
1	1 単元の課題をつかむ。  2 「五年生になってがんばりたいこと」を書き出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いや考えが聞き手に伝わるように話の組立てを工夫して話すとともに、話し手の考えをとらえながら聞くという単元の課題をつかませる。</li> <li>○ 最後には発表会を実施することを伝える。</li> <li>○ イメージマップを作る際に、一つの項目から関連する事柄をたくさんあげられるようにするために、中心部から最初につなげる事柄を4つにする。</li> <li>○ 書き出せない児童には、「今年の目標」をもとにして考えることを助言したり、個別に相談しながら進めるようにする。</li> </ul>	ア① 自分のことを知ってもらうためのスピーチの話題を進んで探そうとしている。(イメージマップ)
2	1 教科書のスピーチ例から組立てや言葉の工夫について考える。  2 <スピーチ例の組立て> ア がんばりたい事 (自分の考え) イ 理由 ウ 具体的な事実 (理由を支える事実) エ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるための話の組立て方の基本型として、双括型の文書構成を確認する。</li> <li>○ 具体的な事実として、理由を支えるようなエピソード (出来事) をあげるとよいことを助言する。</li> </ul>	オ② 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるための基本的な組立ての工夫について理解している。(ノート)
3	1 イメージマップを確認し、自分が話す話題を決め、話を構成する材料を選び出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスの友人 (相手意識) に向けて行う「がんばりたいこと」 (目的意識) というスピーチであることを確認する。</li> <li>○ 自分なりの考えを大切に、自分にはできないスピーチを作ることが目標であることを確認する。</li> <li>○ 話題を決める時に、なぜその話をしようとしているのかという理由をきちんと説明できるようにであれば、書くべき具体的な事実は決まってくることを助言する。</li> <li>○ 話の方向性を決め、話題を絞り込みながら、「話の中心」「聞き手に分かるように」という二つの観点から話の材料を選択させ、付箋紙に書き出させる。</li> </ul>	イ① イメージマップをもとに自分が話す話題を決め、それにあつた話の材料となるものを選び出している。(構成メモ③)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教種類の付箋紙を用意し、文に近い形など書きやすい形で表記してもよいことを確認する。</li> <li>○ 「事実（誰もが同じように感じること）」と「感じた事（自分だけが感じたり考えていること）」に分類して考えると話の組立てに役立つことを助言する。</li> </ul>	
4	<p>1 前時の学習をもとに、「分かりやすいスピーチ」の基本型にならない、自分のスピーチの組立てる。(A案)</p> <p>2 別の組立てを考える。(B案～)</p> <p>3 「分かりやすいスピーチ」として適切と思われるものを選び、その理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の双括型の構成（思いや考え・理由・具体的な事実・まとめ）も組立ての工夫の一例であるので、基本型として自分のスピーチの材料を当てはめ、話の組立てについて意識させたい。</li> <li>○ 具体的な事実の述べ方がポイントになるので、理由とのかかわりを意識させ、どんな事例をあげればよいのか十分に考えさせたい。</li> <li>○ 基本型のアレンジとして、付箋紙を操作しながら、具体的な事実を変えたり使う材料の入れ替えたりしながら別案を考えさせたい。</li> <li>○ 複数の構成パターンを考え比較することにより、聞き手が分かりやすいスピーチという意識を高めさせたい。</li> </ul>	<p>○ 選び出す時には、自分の思いの強さだけでなく、聞き手にとって分かりやすいことを意識することを確認する。</p> <p>イ② 聞き手のことを第一に考え、聞き手がよく分かるような組立てや順序を考えることができる。 (構成メモ③)</p>
5	<p>1 発表用メモを作り、練習をする。</p> <p>2 グループ（4人）で交互に発表を行い、聞き手から質問をもらう。 &lt;質問例&gt; ・その時の気持ちは？ ・具体的な数値（いくら？） ・どんな変化があったのか？ ・どのくらいの量？ ・何かにととえると？</p> <p>3 質問されたことを記録する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ つなぎの言葉などを入れ、話の組立てを分かりやすくした構成メモ④をつくり、スムーズに発表できるようにさせたい。</li> <li>○ 声の大きさ、速さ、間の取り方などの話し方の工夫についても確認する。</li> <li>○ 聞き手には、「もう少し詳しく説明して欲しい所」という視点で質問をするように確認する。</li> </ul>	<p>イ② 聞き手に伝わるように話の組立てなどを工夫して話している。 (スピーチ、構成メモ④)</p> <p>イ③ 話し手の説明が足りない所を指摘できるように聞いている。 行動観察、構成メモ④)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 質問されたこと（説明が足りないところ）を構成メモ④に書き込み、見直す点を意識させる。</li> </ul>	<p>イ② 聞き手からのアドバイスを参考として受け止めている。 (構成メモ④)</p>
6 本時	<p>1 普段の生活の様子から「小学校二年生」について考え、話し合う。 &lt;予想される反応例&gt; ・具体的に言ってあげないと分からない ・目に見える物を使って説明するとよく分かってくれる ・ていねいに説明してあげないと分からない ・一度にたくさんを言うとならなくなってしまう ・興味をもつと集中できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ここで初めて、「二年生に向けてのスピーチ」であることを告げ、児童の興味関心を高めさせたい。</li> <li>○ 二年生の様子を録画したVTRを見せ、イメージしやすくする。</li> <li>○ 登校班や休み時間、縦割り清掃の時などを思い出しながら考えさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二年生について十分に分析することで、発達段階による行動面や思考の特性、語彙の問題などに気づき、スピーチの組立ての工夫の方向性を考えさせたい。</li> </ul>

四	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五年生に話す時より易しい言葉を使わないと伝わらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 詳しい説明や具体物を提示するなど同学年に話す時よりも工夫が必要であることなどに気づかせたい。</li> <li>○ 話し合いで出てこなかった工夫については、参考例として説明する。</li> <li>○ 話し合いの中から、自分がとらえた二年生像を構成メモ⑤に書きこませる。</li> </ul>	<p>イ① 聞き手が、二年生となることからどのような工夫が必要であるか、考えている。 (構成メモ⑤)</p>
	<p>2 話し合いの内容を踏まえ、話の組立ての再構成をする。</p> <p>&lt;工夫例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題を変える</li> <li>・言葉などを詳しく説明する</li> <li>・出だしを工夫する</li> <li>・具体物を提示する</li> <li>・具体例を増やす</li> <li>・実際に体験したことをあげる</li> <li>・一つ一つの段落を短くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組立てに戸惑っている児童には、まず二年生のために何をすればよいのかということ個別に相談しながら年下の子に話す時の工夫について考えさせたい。</li> </ul>	
	<p>3 再構成したスピーチを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1～2名の児童にスピーチだけでなく、工夫のポイントについて発表させることで他の児童の参考とさせたい。</li> </ul>	<p>オ② 文章の構成を確認し、自分の思いや考えを分かりやすく伝えるための組立ての工夫について理解している。 (構成メモ⑤)</p>
五	<p>1 発表用メモを作る。</p>		<p>○ 話の組立ての工夫もさることながら、つなぎの言葉も平易な言い方にしたり、話し方の工夫で「語りかけるように話す」ことをしないと二年生を惹きつけられないことを確認する。</p>
	<p>7</p> <p>2 グループ（6人程度）で練習し、感想を交換しながら話の組立てを見直す。</p> <p>&lt;感想例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し詳しく説明したほうがよい</li> <li>・具体的な数値があげてみれば？</li> <li>・実物を見せてみれば？</li> <li>・ゆっくり話しているところがいい</li> <li>・出だしが印象的でいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き手が二年生である事を意識し、互いにアドバイスを交換し、参考となることをメモに書きこみながら練習を進める。</li> </ul>	<p>ア① 自分の思いや考えが聞き手によく伝わるように工夫して話そうとしたり、話し手の考えをとらえながら聞こうとしている。 (スピーチ、構成メモ⑤)</p> <p>イ② 聞き手からのアドバイスを参考に話の組立てを再確認している。 (構成メモ⑤)</p>
	<p>8</p> <p>1 二年生に向けて発表会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの練習の成果を生かし、自分の思いが聞き手に伝わるように話すように助言する。</li> <li>○ 話の組立てだけでなく、話し方の工夫も最大限に活用する必要があることを確認する。</li> </ul>	<p>イ② 易しい言葉を使ったり、具体例を多くするなど、二年生に伝わるように工夫して話している。 (スピーチ、構成メモ⑤)</p>
	<p>9</p> <p>1 自分の発表を振り返り、学習の成果を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き手のことを考えながら、話の組立てを工夫することの大切さを理解できたか確認する。</li> </ul>	<p>オ② 自分の工夫点を振り返り、話の組立てを考えて話すことの大切さを理解している。 (アンケート)</p>

(1) 本時の学習

ア 目標

- 2年生に発表するために、話す順序や内容などの話の組立てを再構成することができる。

イ 準備物

構成メモ(④, ⑤), 付箋紙

ウ 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2年生にも分かるように、スピーチの組立てを工夫しよう。</p> </div> <p>2 縦割り清掃や通学班など普段の生活の様子から「小学校2年生」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に言ってあげないと分からない</li> <li>・目に見える物を使って説明するとよく分かってくれる</li> <li>・ていねいに説明してあげないと分からない</li> <li>・一度にたくさんを言うとなんか分からなくなってしまう</li> <li>・あまり余計なことは言わず、大切なことだけを言ったほうがよい</li> <li>・興味をもつと集中できる</li> <li>・興味がないものにはあまり反応しない (つまらないと、すぐにあきらむ)</li> <li>・五年生に話す時より易しい言葉を使わないと伝わらない (言葉の意味が分からない)</li> </ul> <p>3 話し合いの内容を参考に自分のスピーチの組立ての再構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題を変える</li> <li>・言葉などを詳しく説明する</li> <li>・出だしを工夫する</li> <li>・具体物を提示する</li> <li>・具体例を増やす</li> <li>・実際に体験したことをあげる</li> <li>・一つ一つの段落を短くする</li> </ul> <p>4 再構成したスピーチを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ここで初めて、「2年生に向けてのスピーチ」であることを告げ、児童の興味関心を高めさせたい。</li> <li>○ 聞き役が低学年ということから、話の組立てにさらなる工夫が必要になることを確認する。</li> <li>○ 2年生の様子を録画したVTRを見せ、イメージしやすくする。</li> <li>○ 掃除の時間など話をしていて感じた事や、休み時間などに一緒に遊んでいる時に感じた事を思い出しながら考えさせながら、発達段階による行動面や思考の特性、語彙の問題などに気づかせたい。</li> <li>○ 自分の考えを構成メモ⑤に書き出させる。</li> </ul> <p><b>評イ①</b> 2年生が分かりやすくするための工夫について考えることができる。 (発表・構成メモ⑤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いの中で出てこなかった工夫の仕方については、参考例として説明する。</li> <li>○ 話す速度や間の取り方など言葉遣いに関することも必要であるが、まずは話の組立ての工夫を最優先で考えることを確認する。</li> <li>○ 前時に選び出した話の材料はそのまま、2年生の特性に合わせて分かりやすいスピーチにするという観点で、子どもたちの自由な発想で話の組立てを考えさせたい。</li> <li>○ 組立てに戸惑っている児童には、まず2年生のために何をすればよいのか、ということ個別に相談しながら年下の子へ話す時の工夫について考えさせたい。</li> <li>○ 自分なりの工夫ポイントをメモの中に記述させる。</li> </ul> <p><b>評オ②</b> 2年生が分かりやすくするための組立ての工夫を自分のスピーチに取り入れることができる。 (構成メモ⑤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1～2名の児童にスピーチだけでなく、工夫のポイントについても発表させることで、他の児童の参考とさせたい。</li> <li>○ 次時は、本時に作成した構成メモをもとに、話す速度や間の取り方など話し方に関することを考えながら練習することを確認する。</li> </ul>

# 組立てメモ

A 案 ( )

がんばりたいこと

理由

具体的な事実 (例)

まとめ

決めた理由



( )

B 案 ( )

がんばりたいこと

理由

具体的な事実 (例)

まとめ



考え
----

理由
----

具体的な事実
--------

まとめ
-----

スピーチを聞いた人から質問されたことは？
----------------------

質問を受け改良したこと
-------------



聞き手からアドバイス

--	--	--	--	--	--	--



（

）